

# 依頼試験・開放機器紹介

## 精密小型引張圧縮試験機

### ■機器の概要

精密小型引張圧縮試験機は、引張試験・圧縮試験・曲げ試験等により、プラスチックなど材料の機械的性質を測定し、材料加工のし易さや加工された製品の耐久性などを評価する機器です。

### ■活用事例の内容

#### 活用例 ポリエチレンの引張強度試験

通常ポリエチレンの引張試験では、降伏点を確認したところで試験終了となりますが、利用者の「破断する迄引張りたい」という希望を受け、背高タイプ装置の利点である長いクロスヘッド移動量を生かした試験を実施しました。

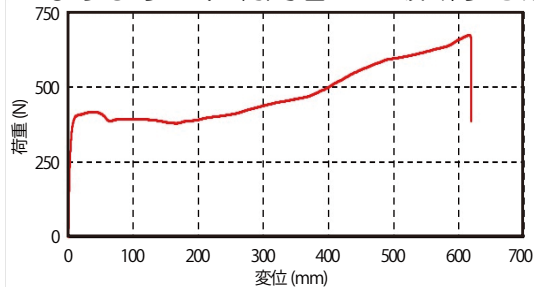


図 ポリエチレンの引張試験例（つかみ具間距離：110mm）



本機器は、（公財）JKAのオートレースの補助を受けて、新たに購入・設置した開放試験研究機器です。

### ■仕様・留意事項

メーカー名：Instron社【米国】

型式：5965型(試験機)

試験機容量：5kN

垂直試験空間：1,756mm<sup>※1</sup>

ロードセル：5kN・500N<sup>※2</sup>

治具：引張（5kN, 250N）・圧縮（5kN）

三点曲げ（プラスチック用：5kN）

※1 治具の種類・チャック間距離等により試験に利用できるクロスヘッド移動量は変わります。

※2 容量500Nのロードセルは引張治具（250N）及び曲げ治具で利用可能です。

AutoX750(自動伸び計)<sup>※3</sup>

移動距離：最大750mm

ゲージ長：10mm～

※3 試験片の形状や材質によっては利用できない場合があります。

**試験片の準備（加工）は利用者にて実施して下さい**